

Chandrupatla 法

@shinkwhek

1. 概要

Newton 法の問題として,

- 導関数が複雑な場合, 準備に手間が掛かる
- 初期値の選択に注意しなければならない
- 場合によって遅くなる ($f'(x_\infty) = 0$ のとき)

などがある. これに対し, Chandrupatla 法は導関数を求める必要がなく, 誤差収束が常に $\varepsilon^{1.84}$ で, 初期値の選択が Newton 法のそれより機械的に行えるといった利点がある.

第2章では Chandrupatla 法の導出を, 第3章ではアルゴリズムについて記述する.

以下の議論において, 特に断りが無ければ任意の値が取る空間は \mathbb{R} とする.

2. 導出

方程式 $f(x) = 0$ が与えられたとする. x 軸を跨ぐような 3 点 $(x_1, y_1), (x_2, y_2), (x_3, y_3)$ を用意する.

Lemma 2.0.1 異なる 3 点を通る 2 次関数は一意

Proof :

$(x_1, y_1), (x_2, y_2), (x_3, y_3) \in \mathbb{R} \times \mathbb{R}$ に対し, 2 次方程式 $y_i = a_1 x_i^2 + a_2 x_i + a_3, i = 1, 2, 3$ とおく. これを 1 つにまとめ,

$$\begin{aligned} y &= \begin{pmatrix} x_1^2 & x_1 & 1 \\ x_2^2 & x_2 & 1 \\ x_3^2 & x_3 & 1 \end{pmatrix} a \\ &= Va \end{aligned}$$

とおく. $\det V \neq 0$ ならば V の逆行列が存在して a は一意. ここで V は Vandermonde's determinant なので,

$$\begin{aligned} \det V &= (x_3 - x_2)(x_3 - x_1)(x_2 - x_1) \\ &\neq 0 \end{aligned}$$

QED.

ここでラグランジュの補間公式の逆関数を以下のように与える.

Definition 2.0.2

$$x(y) := x_3 \frac{(y - y_1)(y - y_2)}{(y_3 - y_1)(y_3 - y_2)} + x_2 \frac{(y - y_1)(y - y_3)}{(y_2 - y_1)(y_2 - y_3)} + x_1 \frac{(y - y_2)(y - y_3)}{(y_1 - y_2)(y_1 - y_3)}$$

また, ラグランジュの補間公式は以下の性質を満たす. ($i = 1, 2, 3$)

$$x(y_i) = y_i$$

これを用いて新たな点の x 座標を得る.

$$\begin{aligned} x_4 &= x(y = 0) \\ &= \frac{x_3}{\left(\frac{y_3}{y_1} - 1\right)\left(\frac{y_3}{y_2} - 1\right)} + \frac{x_2}{\left(\frac{y_2}{y_1} - 1\right)\left(\frac{y_2}{y_3} - 1\right)} + \frac{x_1}{\left(\frac{y_1}{y_2} - 1\right)\left(\frac{y_1}{y_3} - 1\right)} \end{aligned}$$

3. アルゴリズム

$y_i := f(x_i)$, ($i \in \mathbb{N}$) とおく.

- (1) 方程式 $f(x) = 0$ に対し, $y_1 < 0 \wedge y_2 > 0$ であるような点 $(x_1, y_1), (x_2, y_2)$ を得る.
- (2) $x_3 := \frac{x_1 + x_2}{2}$ とし, 点 (x_3, y_3) を得る.
- (3) 点 $(x_1, y_1), (x_2, y_2), (x_3, y_3)$ を初期値とする.

(4) 与えられた 3 点 $(x_n, y_n), (x_{n+1}, y_{n+1}), (x_{n+2}, y_{n+2})$ に対し,

$$x_{n+3} = \frac{x_{n+2}}{\left(\frac{y_{n+2}}{y_n} - 1\right)\left(\frac{y_{n+2}}{y_{n+1}} - 1\right)} + \frac{x_{n+1}}{\left(\frac{y_{n+1}}{y_n} - 1\right)\left(\frac{y_{n+1}}{y_{n+2}} - 1\right)} + \frac{x_n}{\left(\frac{y_n}{y_{n+1}} - 1\right)\left(\frac{y_n}{y_{n+2}} - 1\right)}$$

を用いて x_{n+3} を得る.

(5) 3 点 $(x_{n+1}, y_{n+1}), (x_{n+2}, y_{n+2}), (x_{n+3}, y_{n+3})$ に対し (4) を再帰的に行う. (つまり n を 1 つずつズラシ 3 点を更新してゆく)

4. 例

4.1. $x - e^{-x} = 0$

$$(x_1, y_1) = (1, 1 - e^{-1})$$

$$(x_2, y_2) = (-1, -1 - e)$$

$$(x_3, y_3) = (0, -1)$$

とおくと,

$$x_4 = 0.5771270342$$

$$x_5 = 0.5674140938$$

$$x_6 = 0.5671432725$$

4.2. $x - \cos x = 0$

$$(x_1, y_1) = (2, 2 - \cos 2)$$

$$(x_2, y_2) = (1, 1 - \cos 1)$$

$$(x_3, y_3) = (1.25, 1.25 - \cos 1.25)$$

とおくと,

$$x_4 = 0.7240472384$$

$$x_5 = 0.7393581343$$

$$x_6 = 0.7390848511$$

$$x_7 = 0.7390851332$$

$$4.3. \quad x^6 - x - 1 = 0$$

$$(x_1, y_1) = (2, 61)$$

$$(x_2, y_2) = (1, -1)$$

$$(x_3, y_3) = (1.5, 8.890625)$$

とおくと,

$$x_4 = 1.056426144$$

$$x_5 = 1.160856479$$

$$x_6 = 1.130869905$$

$$x_7 = 1.134801751$$

$$x_8 = 1.134724072$$

$$x_9 = 1.134724138$$